

【天国への手紙

】2023年3月18日放送分【

ばあちゃんへ

ラジオネーム：ちな

ばあちゃん、いつも見守ってくれて、ありがとう。

困ったことが起きた時、身体の調子が悪いとき、心の中ではあちゃんに相談しつつづけて、あっという間に30年が過ぎました。

私が生まれたときから一緒に住んでいた、とっても優しくかった、ばあちゃん。ばあちゃんが寝たきりを経て枯れて亡くなった頃、私はまだ子どもで、何かで壁にぶち当たった時や辛いことが起こるたびに「ばあちゃん、助けてー!」って、まるで神頼みのように心の中で何度も叫んでいたっけ。

大人になった今でも、ばあちゃんが見守ってくれていると思うと、気合が入ったり、気持ちが落ち着いたり、時は背筋が伸びたりしています。

ばあちゃん、長い年月を経て、母さんもばあちゃんが命を全うした歳に近づいてきました。

母さんは病気を抱えながらも、日頃ならばあちゃんの歳までは元気に生きていきたいと言い続けていたけど、先日突然倒れてしまい、病院の先生や看護師さんから家に帰るのは難しいと言われてしまいました。

最近、母さんは、ばあちゃんの夢をよく見ると言っています。何を話したのかは忘れちゃったそうだけど、きっと夢の中で親子の時間を過ごしたんじゃないかな。

この間、母さんが、最期は家で迎えたいけど、そもいかないだろうから、最期に入院するところはばあちゃんが亡くなった病院がいいなど言い出してびっくりしました。

母さんと私がいくつになっても母と娘であるように、ばあちゃんとも母さんも、永遠に母と娘なんだね。

ばあちゃん、母さんが出来るだけ元気でいられるように、穏やかな気持ちで過ごさせるように、1日でも長く生きていられるように、家族も頑張るから、ばあちゃん、どうかどうか、見守っていてくださいね。

〈 母と娘の10000日〜未来の扉〜 〉

May. J u e t    W i t h    八代亜紀    〈